

前田議員（自民議連）

令和2年9月28日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）専門高校の見直しについて

技術革新・産業構造の変化やグローバル化等，社会情勢の急激な変化に伴い，専門高校に期待される資質・能力も変わってきている。

そこで，まずは，地域の産業界が求めるニーズや方向性について，中長期的な視点も踏まえ正しく捉える必要があると考えるが，県として，それをどのように把握し，その結果を専門高校のカリキュラム等にどのように反映しているのか，現在の取組状況について，教育長に伺う。

次に，県北地域の産業界が必要とする専門高校の人材の把握において，県関係部局や産業界とどのように連携しているのか，また，これからの中山間地域の目指す姿の実現に向け，今後，産学官が更なる連携のもとで，高校の専門学科の在り方を見直していくことが必要と考えるが，併せて教育長に所見を伺う。

（答）

高等学校の専門学科の在り方につきましては，生徒・保護者のニーズを把握するとともに，地域の産業界の御意見も伺いながら，各地域の特性や課題を踏まえ，検討を進めていくことが重要であると考えております。

このため，地域や産業界が求めるニーズや方向性について，中長期的な視点に立った産業教育の在り方を検討するため，本県では，産業界や学識経験者等で委員を構成する「地方産業教育審議会」を開催しているところでございます。

そして，同審議会から，産業界との協力・協働体制づくり等に係る答申を受け，各学校では，企業と連携した商品開発等を通して起業家精神の育成を図るなどのカリキュラムの開発・実施に取り組んでおります。

また，県北地域における人材育成のニーズにつきましては，昨年度に引き続き，県北地域の商工会議所を訪問したところ，

- ・ 高校生と企業との関係を深めたい，
- ・ 県北地域の産業や企業へ興味を待ち，地元を愛する生徒を育てて欲しいといった御意見を伺ったところでございます。

現在，こうした御意見を高等学校と共有し，

- ・ 庄原実業高等学校において，地元企業と連携した課題発見探究型学習の

実施

- ・ 三次青陵高等学校において、工業に関する科目の魅力の発信などについて、検討を進めているところでございます。

教育委員会といたしましては、関係機関と連携しながら、引き続き、地域の産業界が必要とする人材の育成を図るとともに、農業土木の科目を置く庄原実業高等学校や、工業系の系列を有する三次青陵高等学校の教育内容の充実を含め、各地域の実情に応じた専門学科の在り方の検討を進めてまいりたいと考えております。